

駒澤大学仏教文学研究所規程

(名称・設置)

第一条 駒澤大学に駒澤大学仏教文学研究所（以下「研究所」という）を設置する。

(目的)

第二条 研究所は、建学の理念に基づき、仏教文学及び仏教と文学に関連する総合的研究を行い、もって文化の向上に資することを目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(一) 研究会及び講演会の開催

(二) 図書及び研究紀要の刊行

(三) 国内外の同種の研究団体及び関係する諸機関等との連携並びに学会等の開催

(四) その他研究所の目的を達成するために必要な事業
(職員)

第四条 研究所には次の職員を置く。

(一) 所長一人

(二) 所員若干人

二 所員は、本学の専任教員の中から学長がこれを委嘱し、その任期は二年とする。ただし、再任を妨げない。

(所長)

第五条 所長は、研究所を代表し、研究所の運営を統括する。
二 所長は、運営委員会の議を経て、本学専任教員の中から学長がこれを委嘱し、その任期は二年とする。ただし、再任を妨げない。

(幹事)

第六条 所長を補佐し、研究所の事務を掌るため、研究所に幹事を置く。

二 幹事は、運営委員会の議を経て、所員の中から学長がこ

れを委嘱し、その任期は二年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第七条 研究所に必要な助言を与え、事業の円滑な運営をはかるために、若干人の顧問を置くことができる。

二 顧問は、運営委員会の議を経て、所長が推薦し、学長がこれを委嘱する。

(運営委員会)

第八条 研究所には、運営に関わるすべての事項を審議し決定するために運営委員会を置く。

二 運営委員会は、所長及び所員をもって構成する。

(研究員)

第九条 研究所には、研究員を置くことができる。

二 研究員は、本研究所で行う研究活動に参加を希望する本学及び他大学の大学院生並びに国内外の研究者の中から、運営委員会の議を経て所長が委嘱する。

三 研究員の研究期間は一年とする。ただし、事情により研究期間の延長を認める。

(運営費)

第十条 研究所の運営費は、駒澤大学の年間予算、寄付金その他をもって充てる。

(規程の改廃)

第十一条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、大学の承認を得なければならない。

附則 この規程は、平成八年四月一日から施行する。

附則 この規程は、平成十年四月一日から施行する。

附則 この規程は、平成二十二年四月一日から施行する。

この規程は、平成二十二年四月一日から施行する。

彙報

編集後記

一〇四

一 第十五回公開講演会開催

平成二十二年十月二十九日(金) 午後三時より

於本学一号館三〇一教場

聖と遁世の文学史点描

筑波大学准教授 近本謙介氏

徒然草の聖經と社会福祉 — 悲田院について —

東洋大学教授 高城功夫氏

二 第十六回公開講演会開催

平成二十三年十月二十一日(金) 午後三時より

於本学中央講堂

近世の仏教文学

近畿大学名誉教授 西田耕三氏

悲しみから生まれる力 — 仏教文学の現代性 —

東京大学大学院教授 島蘭 進氏

三 平成二十二年度四月より研究所規程第九条第二項に従い、

新たに伊藤達氏を研究員に迎え、また第九条第三項に従い、塩崎真理子氏・池田大輔氏を研究員に再任した。なお、平成二十三年度四月より、上記三氏の研究員再任について、同年六月八日(水)開催の運営委員会にて追認した。

駒澤大学仏教文学研究所紀要「駒澤大学佛教学研究」第十四・十五号(合併号)をお届けいたします。合併号となった経緯を略述いたしますが、「彙報」に記したように、二十二年度に公開講演会が開催され、当日会場での講演の録音状態が悪く、講演録の作成に時間が要し、講師の先生には十二月下旬あるいは一月下旬という時期にお届けすることになり、二十二年度内の紀要第十四号の刊行が困難と判断、刊行が見送られました。

二十三年度において、六月八日開催の運営委員会にて、年度を追って紀要刊行するということを原則として、二十三年度秋季に第十四号の刊行、年度末にて第十五号の刊行という方針を決定、二十三年八月末原稿締切りで十月末に第十四号刊行を予定しておりましたが、講師及び研究所員よりの寄稿が叶わず、あえて今回十四・十五号の合併号とした次第です。

つきましては彙報に報告しましたとおり、二十三年度は近畿大学名誉教授西田耕三先生と東京大学大学院教授島蘭進先生を講師にお迎えして公開講演会を開催、年末年始の御多用の中、その折の御講演録を元に、両先生にお手を加えていただき玉稿を賜りました。心より御礼を申し上げます。

また今回元仏教学部教授袴谷憲昭先生より紀要への御投稿があり、貴重な仏教文学研究の情報発信として採用させていただきました。また今回研究員の伊藤達氏の意欲的な投稿もあって、紀要が無事発刊に至ったことは幸いでもあります。

しかし前述の第十四号の企画においてもまた今回合併号の企画においても、研究所員の論文が寄せられなかったことは残念です。多くの所員の発表を望みます。(H・S)

執筆者紹介（掲載順）

西田 耕三
（近畿大学名誉教授）

島 菌 進
（東京大学大学院教授）

伊藤 達 氏
（駒澤大学・本研究員）

袴谷 憲 昭
（元駒澤大学仏教学部教授）

駒澤大学 佛敎文學研究 第十四・十五号

平成二十四年三月三十一日 発行

発行所 駒澤大学仏敎文學研究所

代表者 林 達 也

〒一五四―八五二五

東京都世田谷区駒沢一―二十三―一
電話（〇三）三四―八一九五三三

印刷所 株式会社 英 進

〒一四三―〇〇一三

東京都大田区大森南三―三十一―十八
電話（〇三）三七四五―四二四九